

平成25年度 評価委員会の開催内容

公園名	新潟県スポーツ公園北地区 新潟県スポーツ公園南地区	植物園	大潟水と森公園
開催日時	平成26年2月13日(金) 13時30分から15時00分	平成26年3月4日(火) 14時00分から16時00分	平成26年2月28日(木) 13時30分から15時30分
開催場所	デンカビッグスワンスタジアム 会議室	植物園 花と緑の情報センター研修室	上越市大潟区総合事務所 小会議室
委員	村尾 建治 (新潟市南商工振興会 会長) 豊嶋 直美 (山潟地区コミュニティー協議会 事務局長) 中野 久 (新潟県野球協議会 事務局長) 西片 祐一郎 (一社)新潟県サッカー協会 事務局長) 金子 和子 (ながたの森を愛する会 幹事)	石沢 進 (積雪地域植物研究所主宰・元新潟大学理学部教授) 大倉 宏 (美術評論家、砂丘館館長) 小林 正夫 (（公社）日本家庭園芸普及協会技術顧問・長岡市緑花センター長) 青山 清道 (NPO法人にいがたNGOネットワーク理事・元新潟大学災害復興科学研究所教授) 佐野 明 (技術士・建設部門:都市及び地方計画、公園緑地・日絨土木工業(株)顧問)	古澤 和子 (新潟県自然環境保全連絡協議会副会長) 土田 豊 (大潟観光協会 事務局長) 佐藤 和子 (まちづくり大潟 副会長) 中村 敦子 (社会福祉法人上越頸城福祉会 傷害支援課長) 折笠 智子 (上越市立はまっこ保育園 園長)
内容	新潟県スポーツ公園北地区と新潟県スポーツ公園南地区に分けて管理運営状況及び利用状況等、内部評価について説明。その後、意見、評価をいただいた。	観賞温室等の施設施設を行った後、管理・運営の実施状況及びアンケート調査結果、内部評価結果について説明。その後、意見、評価をいただいた。	大潟水と森公園の管理運営状況、利用状況等及び内部評価について説明。その後、意見、評価をいただいた。
評価意見要望	<ul style="list-style-type: none"> 最大限の心遣いを持って管理運営していることに感心している。地元住民や地域住民に声をかけていただければ、もっと盛り上げていけるのではと感じている。 鳥屋野潟の環境問題は地元住民・商工会・行政・指定管理者の協力なしではなし得ない。情報を共有した中で相互協力をしていきたい。 公園へ自転車で来園される利用者も多いので、事故防止のためにも自転車通行のマナー啓発をお願いしたい。 ビッグスワンについては、特に、冬季に盛り上げられるイベント開催に向け検討を進めてほしい。 利用の都度、親切丁寧に対応してもらっている。今後も同様の対応をお願いしたい。 	<ul style="list-style-type: none"> アザレアの企画展示とツツジの特別展示が工夫されており、感心した。新潟を特徴づける展示を今後も継続してほしい。 十分に工夫されており、これ以上の要求は酷かもしれないが、花に興味の無い人に来園いただく更なる工夫が必要。 解説を見たい人、植物を見たい人とコーナーを分けた展示も検討してみてもどうか。 園地は無料で利用できる快適な空間であり、更なるPRを期待したい。 高齢化社会の中、植物園を散策することで会話も弾み、楽しく健康的に運動することができ、医療費の軽減を図ることができる。数値では表しきれない効果をもっと強調すべきでは。 	<ul style="list-style-type: none"> 林地部分の樹木につる植物が巻きついている所があるので、除去し、健全に育つように管理してほしい。 遊具のない公園は非常に貴重であり、自然の中で遊ぶことの楽しさを伝えられる取り組みを検討してほしい。 花の見頃や公園マップの設置等、工夫がされている。 トイレの清掃点検表を設け、利用者が安心や快適を目で見て分かる工夫がされており、非常に良い。 自然にふれることができる非常に良い公園であるが、雨天時の避難場所があると更に良い公園になる。 公園の動物や植物などについて学べる学習棟などの施設があると良い。 鶴の浜温泉に宿泊された方の中にハクガンを見に来られた方が居られた。観光資源として冬の野鳥の飛来情報発信も検討してほしい。 春季から秋季まで本当に良く管理されている。
内部評価点	北地区:ビッグスワン A(91.10点) 園地部分 A(90.58点) 南地区:A(90.49点)エコスタと園地一括	A(92.0点)	A(91.6点)

内部評価点数の評価基準 A:85点以上 B:70~85点未満 C:50~70点未満 D:30~50点未満 E:30点未満